IV 計画の推進に向けて

1. 本計画の庁内への周知徹底及び庁内連携体制の充実

すべての人が活躍できる社会を実現するためには、男女共同参画に関する取組がすべての部署で共有され、実践されることが大切です。そのため、職員全員がジェンダー平等の視点を持ち、施策を進められるよう、庁内全体に計画の内容をわかりやすく伝え、理解を深めていきます。

また、男女共同参画の取組は、人権や平和、国際交流、保健、福祉など幅広い分野に関わっています。これらの分野が横断的に協力し、計画を推進できる体制づくりを進め、庁内で連携を深めていきます。

2. 市民、企業等との協働及び関係団体・機関との連携

すべての人が活躍できる社会を実現するためには、行政だけでなく、市民や地域、企業がそれぞれの立場から積極的に取り組み、互いに連携・協力することが大切です。そこで、市民や地域、企業にこの計画の内容を広く周知し、ジェンダー平等への関心を高めていくとともに、各主体が自ら行動できるよう促します。

さらに、県や国、男女共同参画センター、配偶者暴力相談支援センター、NPO法人などと連携し、計画に基づいた施策・事業を効果的に推進できる体制を整えます。

3. 計画の適切な進行管理

この計画を確実に推進するためには、施策や事業が計画通りに進んでいるかを定期的に確認することが重要です。また、市民の声や地域のニーズを取り入れ、それに基づいて施策を展開することも大切です。

そこで、毎年、施策の進捗状況の確認や取組に関連する実績データを把握し、その結果を「宜野湾市男女共同参画会議」に報告し、計画の適切な進行や施策の改善につなげていきます。